

Kシニア教育支援グループ 2011年度の活動報告(修正版)

- ・グループ活動の概要
 - ・講座内容
- ・講座実績(2011年4月～)

グループ活動の概要

- 幼稚園児・小・中・高校生から高齢者までを対象として、科学実験の指導と船と海に関する話をするボランティア活動グループです。
- 学校内での特別講座として、また、校外での自主学習の特別講座として、或いは高齢者向けの教養講座等として科学実験の指導や船と海に関する講義をします。
- 2006年10月に当グループ会員7名で結成し、その後3名が加わり、幼稚園児、小・中・高校生および高齢者を対象に各種の講座を行って来ました。
- 2012年3月現在のメンバーは下記の10名です。
(間野、中山、豊田、河合、瀬川、山中(直)、定兼、山中(幸)、野澤*、岡田#) *印は新会員、#印は本年度幹事。

これまでの講座実施内容

- (1) 浮力の科学
浮沈実験、水圧実験、潜水船浮上実験、浮力喪失実験
- (2) 強度の科学
スパゲッティタワーの制作、プラスチック製船の曲げ
- (3) 神戸港の歴史
港の形と設備、出入貨物と船種、等の歴史的変遷の説明
- (4) 船の基礎知識
船の種類、用語(トン数、各部名称)、造船の流れの説明
- (5) 海難の話
海難統計、大きな海難事故、海難概論、海難の教訓等
- (6) 船のお話
・船の三要素・3S(Stability, Strength, Speed)について
・自作紙製模型船の寄贈時の講演と折り紙船の製作実演・指導
- (7) 海の利用について
海を知る、資源・エネルギー、空間利用、輸送の場としての利用等の概要
- (8) 船の安定性——船もふりこ？(ペットボトル船の動揺実験)
- (9) 海の利用と油流出事故(メキシコ湾油田、タンカー重大事故の概要等)
- (10) 海外での造船所滞在体験と異文化事情

グループ活動

講座は、基本的に各講師が一人で行うが、グループ活動としては下記となる。

(1) 相互扶助と切磋琢磨

関係先情報の交換や対応の分担。

講座用のテキストの相互推敲。

写真・資料・ビデオ等の相互提供。

講座手伝いと改良意見の交換。

(2) 会合は特に行わず、意見交換等は、Eメール交信を基本とし、顔合わせは、本総会等の機会を利用して行うのみ。

(3) グループ費用は発生せず

売込み資料等は、必要部数パソコンで自費作成。テキスト印刷、実験用具購入は主催者(学校等)が負担し、遠路旅費や謝礼も出る場合がある。

教育支援グループの2011年度活動実績

下記のように本年度は幼稚園児から小学校、高校、大学までを対象に活動した。

- (1) '11.7 Kシニア総会における教育支援Gの活動報告
…(当グループ幹事によるこれまでの活動報告)
- (2) '11.7~ ”ある造船技術者の記録”(A4版454頁、母校の幼稚園、小学校、高校での”船の話”の記録も含む。)をこの三母校と横国大、阪大、大阪府大、広大、九大、岡大、近畿大、中部大、東海大に寄贈による教育啓蒙活動。又、これらの大学には、元浦賀ドックの故服部堅一博士の”老いた船殻設計者の回想”(A4版545ページ)も一緒に寄贈した。(間野講師)
- (3) '12.2 大阪市内小学校での特別授業
…(定兼講師によるペットボトル船の動揺実験:「船もふりこ?」)
- (4) '12.3 西宮市内幼稚園での教育啓蒙活動
…(野澤講師による「乗り物と船」のお話。)
- (5) '12.3 当グループの活動状況のHPへの掲載('12. 4:修正追加)

自著“ある造船技術者の記録”(A4版454頁)および
紙製模型船「出雲丸」の寄贈による教育啓蒙活動
間野正己 講師(平成24年2月4日)



寄贈時の
記念撮影

(岡山朝日高校
Webより)
平成24年2月4日



母校へ寄贈した紙製模型船「出雲丸」と著書「ある造船技術者の記録」

「理科大好き“なにわっ子”」育成事業
(主体:大阪市教育委員会、協力:大阪商工会議所)
特別授業「船もふりこ？」 定兼廣行 講師



粘土の塊を浮かべる工夫



「船もふりこ？」

授業風景

大阪市内小学校

5年生1クラス

平成24年2月28日



ペットボトル船の動揺実験

西宮市内幼稚園での教育啓蒙活動 「乗り物と船の話」: 野澤和男 講師



熱心に聞き入る
園児たち

平成24年3月1日

